

こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

小柳よしふみ 検索

市政レポート
2012.1 vol.3





浦和っ子

年頭所感

昨年はおかげさまで様々な施策に取り組みました。今年は…

次世代エネルギー先進都市に

さいたま市議会議員として初めての新年を迎えます。旧年中より皆さま方にはたくさんのお声を頂き、ご指導ご鞭撻を頂きました。心より感謝申し上げますとともに、これからも皆さまの声とともに歩む地元議員として活動してまいります。

昨年は、6月・12月と2度の定例会において一般質問の機会を頂きました。地域活性化、子育て、まちづくり等、委員会においては、消防・救急、環境問題、文化芸術など多くの分野の質疑を致しました。そして、各定例会後には市政報告会も開催させて頂いております。

また、さいたま市としては、昨年12月に地域活性化特区の正式な指定が決定しました。次世代エネルギーの先進地

域、EV(電気自動車)の普及の進んだまちとして新たな歩みを始めます。私も先の一般質問等でその推進に尽力して参りましたので、一定の成果が出たことを大変喜ばしく思います。

2月7日からは、2月定例会が開会します。本定例会は、平成24年度当初予算を決定する大切な議会となります。政治において予算の占める重みというのは、他に比較できるものが無いほど重要です。無駄なく効率的に、そして必要と考える箇所には積極的に集中投資ができるような、思い切った市政運営に取り組んでまいりたいと考えております。平成24年も小柳よしふみの活動に、ぜひご注目ください。よろしくお願い申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年5月よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 市民生活委員会所属。



さいたま市の特区指定が決定！

去る12月22日に地域活性化特別区域(グリーンイノベーション分野:環境・エネルギー大戦略)の指定が決定しました。スマートハウスの推進、ハイパーエネルギーステーションの設置、パーソナルモビリティの普及が3本柱となります。地域の活性化への効果も期待されます。

(一般質問の欄をご参照ください)

小柳よしふみの一般質問要旨

今後の積極的な財源確保に向けての考え方は？

回答 徹底した行財政改革等の一方で、市有財産の有効活用、広告事業の拡充、戦略的企業誘致の他、子育て支援策の拡充により若い世代を呼び込み、活気ある都市の維持を図る。

スポーツコミッションの将来ビジョンは？

回答 日本初の組織として平成23年10月に発足。来年度は、関東大会クラス以上のスポーツイベントを10以上誘致。地域商店街などと相乗効果、地域経済の活性化を図るエンジンとしての役割を果たしてゆく。

小柳よしふみの提案 さらに大きな効果を求めるための新たなビジョンづくりと明確な目標値の設定を提言する。

浦和駅高架化に伴う商業振興への取り組みは？

回答 地元への情報提供を徹底するとともに、JRに対し地域との共存共栄という視点から強い指導をしていく。高架化により生じるスペースには、市が権利を有する場所もあり、駐輪場や市民の窓口など市民にとって有益な活用法をさらに検討していく。

小柳よしふみの提案 お互いの共存共栄を具体的に検討できる協議の場の設置を求めるとともに、さらなる本市の協力体制を求める。

2回目の一般質問に登壇！

6月に続き、12月定例会でも特区に関する質問を行いました。

総合特区のメリットと今後の展開は？

回答 本市の特区申請の内容は、幅広い業種の協力のもとに計画されていて、地域への波及効果も大きい。現段階で地域への経済効果は150億円と見込んでいるが、計画の進行に従ってさらに期待が持てる。次世代エネルギー先進地域として、日本全体の牽引役としての存在感と成長が見込まれる。

今後のまちづくりと中心市街地への公園・広場の設置は？

回答 高度利用地区の再検討など、新しいまちづくりビジョンを構築する必要がある。

小柳よしふみの提案 公園・広場の拡充など中心市街地の魅力増進を進言する。

救急・防災、まちづくり… かなえたい！ あなたの想い！

救急患者の一次救急受け入れ

回答▶ 救急患者のたらい回しの例もあり、重要な問題と認識。現在、救急現場にて4件以上または30分以上病院先を探すのにかった場合には、本部からの支援が入る。現状は、2件以内の問い合わせで受け入れ先が見つかるケースが80%を超えている。

小柳よしふみの提案▶ 一定条件で指定のセンターが受け入れ、その後番病院に搬送する「相模原ルール」を提示し、更なる改善を求めた。

新都心8-1A街区情報

赤十字病院と県立小児医療センターが併設 特別支援学校も同じ建物内に

さいたま赤十字病院と県立小児医療センターを移転、併設させる構想が発表になっている。また、岩槻特別支援学校も新病院と同じ建物内に学校機能ごと設置する。

緊急時安心キットの活用実態

回答▶ 高齢者世帯への普及率は90%、障害者などの世帯へは15%であり、今後も普及を促進していく。これまで85件の活用実績もあり、今後も有益な活用が望まれる。



放射線量等の測定会を実施しました。

岸町小学校の校内、通学路を中心に校長先生、PTA役員の皆さんと測定。前地地区においては、自治会役員の皆さんと通学路を中心に測定。いずれも基準値を大きく下回る極めて低い数値でした。



清水市長が議会・会見で語る

『駒場サッカー場を女子サッカーの聖地に！』

さいたま市は、日本随一と言っていいサッカーのまち。なでしこジャパンが世界一になった今こそ女子サッカーを盛り上げるチャンス。サッカーのまちさいたま市を盛り上げるチャンス。動かない手はないでしょう。

ご来場をお待ちしております！

第3回市政報告会を 開催します 浦和パルコ10F・入場無料

日時：平成24年1月29日(日) 18:30～

会場：浦和コミュニティセンター第7集会室

今年は
ヌウ年！



防災訓練への消防の対応

回答▶ 訓練現場において指導を行っている。訓練の要望には極力応える方針であり、その際の救急・消防対応には、問題ない体制が取られている。

小柳よしふみの提案

実践的で地域性なども考慮した指導を求める。

外国人転入者への窓口対応

小柳よしふみの提案▶ 外国人の方が、地域に早く馴染むように積極的に手を差し伸べる必要がある。必ず訪れる転入窓口において、生活に必要な情報や困った時の相談窓口として機能している国際交流協会の相談室の案内の配布を提言する。

文化・芸術活動都市創造へ向けた 取り組み

回答▶ 市民のコミュニティ施設などの利用状況は、希望が偏っているが、全体としてのキャパシティは足りている。情報をもっと的確に流すことによって、譲り合ったり、活動の仕方を工夫できるようにしていく。

小柳よしふみの提案▶ 広く市民の活動が活発になされてこそ、文化・芸術創造都市であると考え。その活動場所の確保について、的確で早期の対応を求める。

コンパクトシティ、次世代エネルギーの まちづくりの視察に伺いました。

富山市



鉄道、バスなど公共交通機関を中心としたまちづくりを行っている。特長的なのが市内を循環しているLRT。自転車のレンタルシステムなどもあり、中心市街地の利便性を向上させて移住の促進を図っている。北陸新幹線、LRTの路線完成を来年度に控え、交通インフラの整備はほぼ完成。あとは、地域活性化の効果をいかに出して行くかが今後の課題。

柏市



柏の葉という新しい街。本市と同様に特区申請をしている地域。スマートハウス、スマートタウン構想が進められている。ただ、エリアを広げた試みは法規制のために難しい様子。新たなまちづくりもこれから本格化という段階か。

千住ガスステーション



ガスを中心としたエネルギーの効率化やコントロールの実験タウン。また、水素ステーションや水素自動車などを含めた新しい試みをしている。本市の特区申請内容でもあるハイパーエネルギーステーションとも通じる施設も見学。ガス管という都市インフラも、次世代エネルギー供給のために有望である。

小柳よしふみ事務所

〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232

FAX: 048-799-3233

E-mail: info@koyanagi.jp

ホームページ: <http://koyanagi.jp/> ブログ: <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

